

## 集中講座サマリー (1)

平成 24 年 10 月 5 日

### 10/4 (木) 集中講座タイムテーブル

18:15-18:30 Bolstat 先生の自己紹介

18:30-19:00 集中講座の心構え

19:00-19:05 自分のプレゼンテーションのトピックをグループ内で紹介

19:05-19:10 参加者のプレゼンテーショントピックのジャンルを把握

19:15-19:25 各セッションごとのアドバイス

19:25-19:45 プレゼンテーションを作る上での注意・アドバイス

### 宿題

次回の授業 10/11(木)までにパワーポイントでプレゼンテーションのスライドを完成させ、メールで sympo2012 に送信。

### 次回の授業

完成させたパワーポイントを使って発表、先生や参加者からフィードバックをもらい修正・改善を行う。

第一回目の授業内容は、パワーポイントでプレゼンテーションを作るにあたっての諸注意・アドバイスです。詳細は、授業で先生が用いたパワーポイントを参照してください。ここでは(1)集中講座での心構え、(2)英語プレゼン成功の秘訣について以下に簡単にまとめます。

### (1)集中講座での心構え

「自分で創意工夫し、フィードバックをもとに自分でプレゼンテーションを完成させる」

来週以降、プレゼンテーション練習の機会が皆さんに与えられますが、Bolstat 先生がして下さるのは英語の校正や論文内容のチェックではなく、プレゼンテーションを改善するためのアドバイスやフィードバック(発音、ボディランゲージ等)です。あくまでも自分の力でプレゼンテーションを作り上げることを念頭において下さい。

また、次回以降の授業では質問する/される機会が多くなります。英語を聞きながら何を質問するか考え頭の中で瞬時に英語構文を組み立てるという同時並行の作業を、ぜひこの授業で練習することをお勧めします。

## (2)英語プレゼン成功の秘訣

「情報を詰め込みすぎず、シンプルに、誰にでもわかりやすく」

具体的には、

### <スライド作成>

- 1枚で1分以内、スライド数を合計10枚以内に抑える
- 文ではなく単語を用いてスライドを作成する
- スライドは聴衆にわかりやすいだけでなく、自分が見てセリフをスムーズに思い出せるように工夫する
- 分かりやすいように、表は使わずにグラフや写真を用いる
- 一枚のスライドにおいて論点を順次表示させるなど、多数のポイントを一度に提示しない

### <口頭発表>

- 最初の30秒から1分の間に、聴衆の興味を惹きつける
- 一番重要なポイントを聴衆に覚えてもらうために、キーワードを繰り返し言う
- 最初に明確なアウトラインを提示し、詳細を述べたあとに再度そのアウトラインに言及
- 聞き取りやすい発音で、ゆっくり話す(それができれば英語を流暢に話す必要はない)
- 比喩や例示、視覚・聴覚に訴える表現・ボディランゲージを使う(ジョークはあれば良いが、必須ではない)
- 5分間の短い時間で聞き取りやすい話し方をするために、短い発音しやすい単語を使う
- 自分のプレゼンテーションを印象づけるため、プレゼンテーションの最後の一言を工夫する

### <質問に対する回答>

- あらかじめ想定される質問をいくつか考えておき、その回答を考えておく
- 聴衆が質問しやすいように、質問されそうな部分をあえてプレゼンで話さない
- どのような質問にもある程度対応できるよう、回答する際の英語表現の型を決めておく